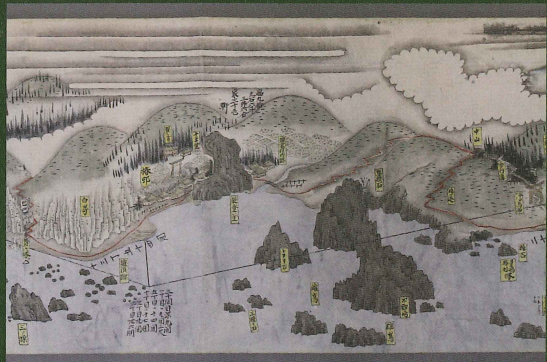




鈴木重孝『絹飾』男鹿市個人蔵



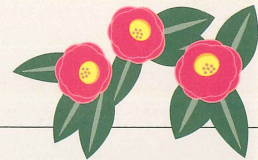
菅江真澄『男鹿の秋風』県立博物館蔵

歴史に残る椿

江戸時代後期の紀行家 菅江真澄
こおりかたかんじょうやく
や船越村の郡方勘定役 鈴木重孝は
椿地区を描いています。

能登山は昔、海に面し、裏側に道
がありました。

能登山の椿伝説



「来年の秋までにはかならず帰ってくる。おみやげにツバキ油と実をたくさんもってこよう。」男は船乗りで、毎年、椿港から南の国に材木を運んでいた。



約束の年から三度目の秋。娘は能登山から毎日海をながめて暮らしていた。寒い冬がやってきても若者はついに帰ってこなかった。



恋する船乗りが死んだと思い、娘はある雪の寒い日に、能登山から海に身を投げてしまった。



四年目にやっと帰ることができた彼を待っていたのは悲しい知らせ。彼は悲しみ、能登山にある彼女の墓のまわりにツバキの実をまきながら、このツバキが大きくなって自分の代わりに墓を守ってくれることを祈った。そして港を出ていき、二度と帰ってこなかった。



若者のまいたツバキは毎年花を咲かせ、ついに能登山はツバキの木でおおわれるようになった。心なき村人のなかには、ツバキの花をとったり、移植しようとする者もあったが、その人々には不幸が訪れるので、だれも能登山のツバキには手をふれなくなった……

イラスト：本川寿賀子

船川港椿地区に位置する、能登山とその西側の山は「ツバキ自生北限地帯」という国の天然記念物に指定されています。栽培ではなく自然に育っているヤブツバキの北限が、男鹿と青森の夏泊半島を結んだ地域になっているからです。

天然記念物になっているのはヤブツバキとその周りの自然環境です。このヤブツバキは昔から椿地区のみなさんの手によって大切に守られてきました。これからもずっときれいに咲くことができるよう、一緒に守っていきましょう。

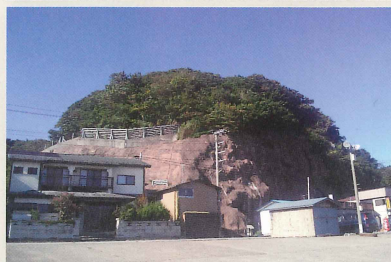
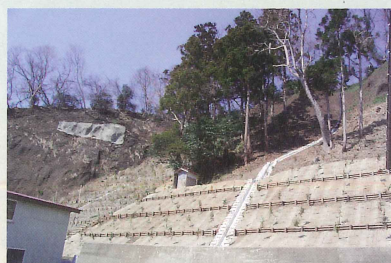
天然記念物ツバキ自生北限地帯を 守っていくために……

【お問い合わせ】

男鹿市教育委員会 生涯学習課 文化財班
電話 0185-24-9103 FAX 0185-24-9156
E-mail syougaiyakusyu@city.oga.akita.jp

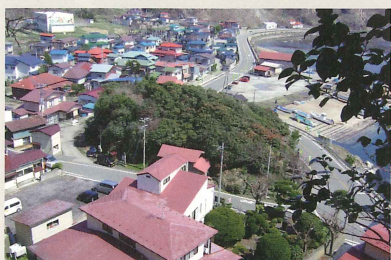
男鹿市教育委員会
2014年3月

[天然記念物] ツバキ自生北限地帯 指定範囲



郵便局裏の山

治山事業で工事された斜面と、その上の林です。ヤブツバキやミズナラ、イタヤなどいろいろな植物が林をつくっています。



能登山

椿地区のシンボル「能登山」。春には一面のツバキが美しい花を咲かせます。能登山には伝説も残っています。山頂には星辻神社があります。



ツバキ自生北限地帯 (天然記念物)
指定面積 9,566.82 m²



北側の山

ヤブツバキの自生が確認されたため、天然記念物の範囲に追加指定されました。スギやイタヤが茂る林です。



自生ツバキを守っていくため みなさんにお願ひがあります……

< お 願 い >

1. ツバキの木を切ったり、剪定しないようにしましょう。
必要な場合には事前にご相談ください。
2. 能登山付近のツバキ群落は長い間自然状態で維持されてきたものですので、土や肥料を入れないようにしましょう。かえってツバキに悪い影響を及ぼすことがあります。
(土や肥料に混じっている種などで交配したり外来種が入りこんでしまう、必要以上に枝幅が広がり、木に負担になる)
- ※1. 2のことも、ツバキを保護する目的で行う場合はできることもあります。
教育委員会 生涯学習課文化財班にご相談ください。場合によっては文化庁からの許可が必要ですので、早めをお願いします。
3. 星辻神社への道や能登山の周りなどの下刈り、周りへ伸びているツルや木の細い枝(ツバキ以外)を切ることは制限がありません。くれぐれも安全に注意して、また、ツバキを傷つけないようお願いいたします。太い枝を切ったり、伐採する必要があるときはご相談ください。
4. 指定範囲内の現在の建物を改修する、土地を掘削するなど、形を変えるときは事前に文化庁からの許可が必要です。計画の段階で早めにご相談ください。

その他、ツバキに何か変化(折れている・弱っている など)がありましたら
男鹿市教育委員会 生涯学習課 文化財班(電話0185-24-9103)にご連絡ください。